

# あいち認知症パートナー宣言

名称 愛知医科大学

私たちの企業・大学は、「認知症に理解の深いまちづくり」に  
「じぶんごと」として取り組みます。

愛知医科大学は、1972年4月に開学以来、社会から評価され、選ばれる医科大学を目指して努力してまいりました。これまでに有能な医療人材である4,500名以上の医師と2,000名以上の看護師を輩出するとともに、長久手市の本院の他に2021年4月には岡崎市北部に分院を開設し、地域医療への貢献も積極的に展開しております。

近年、地域の皆さんが、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるように、医療機関や介護施設だけでなく、住まいや生活支援を含めて地域全体でサポートする体制が求められています。

その中でも特に認知症の患者さんとその家族に対し、本院では、愛知県から2013年9月に指定を受けた認知症疾患医療センターにおいて、地域医療機関や介護保険関係機関、行政等との連携を図りながら生活支援を行ってまいりました。

本学としては、さらに認知症に対する正しい知識と理解を持ち、認知症の方やその家族が安心して生活を送ることができる地域づくりに貢献できるように、看護学部において、2020年度から定期的に認知症サポーター養成講座を開催することにしました。対象を本学教職員を始めとして、2021年度からは看護学部学生にも拡大し、現在は看護学部のカリキュラム内容に組み込み、授業の一環として学生が認知症に対する理解を深められるように取り組んでおります。